

# 第4章

## 第1次実施計画の推進にあたって

- 1 第1次実施計画の推進にあたって
  - (1) 数値目標による進行管理
  - (2) 来園者のニーズ把握
  - (3) 人材育成とチームワークの向上
  - (4) 持続可能な経営
  - (5) 市民参加の推進

# 1 第1次実施計画の推進にあたって

円山動物園基本方針ビジョン2050に基づき、本実施計画は、以下の観点から推進していきます。

### (1) 数値目標による進行管理

本実施計画の事業・取組の効果や成果を明確にするため、重点項目ごとに数値目標を示し、当計画の進行管理を行っていきます。

また、進行状況については、適宜、市民動物園会議に報告するとともに、ホームページで市民に公表します。

### (2) 来園者のニーズ把握

円山動物園には、子どもから高齢者まで、札幌市民のほか道内外や海外からも、多くの方々にご来園いただいています。こうした多様な来園者の属性とともにニーズを的確に把握するため、継続的にアンケート調査を実施しながら、動物園の魅力向上につなげていきます。

### (3) 人材育成とチームワークの向上

動物専門員が新設され、2019年度（令和元年）からは、動物の飼育は全て動物専門員が担うことになりました。専門知識を習得するための職場環境の構築とともに、獣医師との協力体制、経営・管理部門との連携を強化していきます。

また、円山動物園を支えるボランティアや券売、案内、清掃、売店、警備等の業務に従事する全てのスタッフと目標を共有しながら、実施計画の推進に向けて協力していきます。

### (4) 持続可能な経営

新たな施設による動物展示を進める中、動物福祉を向上させ、老朽化した施設の改修や修繕を計画的に実施するために、経費削減の取組とともに、効率的な動物園運営を進めていきます。

一方、光熱水費や飼料代などが増加傾向にあることから、収入確保のため、入園料や減免制度の見直しを行います。

## **(5) 市民参加の推進**

環境イベントや各種ボランティアなどへの参加のほか、市民の善意の気持ちが寄付を通して保全のための繁殖の取組や動物福祉の向上、施設整備につながる仕組みを検討します。

また、市民の財産である円山動物園の動物たちの福祉を守っていくため、動物園の役割や動物福祉に配慮した運営について定める動物園条例の制定により、多くの市民に動物園運営に関心を持ってもらい、市民参加をより一層推進していきます。